

公共サービス提供で 香川・土庄町と協定

エイト日技・職員不
足など地域課題対応

エイト日本技術開発は4月28日、香川県土庄町との間で「同町が提供する公共サービスの持続的発展に係る技術連携に関する協定」を結んだ。

同社の知識、技術、資源を活用し、住民サービスの向上や業務の効率化を継続的に推進



岡野町長（左）と宮本常務

する。四国エリアでの協定は、愛媛県の大洲市、高知県の宿毛市、越知町に次いで4件目となる。

同町役場で開かれた締結式には、岡野能之町長と同社の宮本克己取締役常務執行役員事業推進本部長が出席。両者の間で協定書が交わされた。

岡野町長は「本町では、瀬戸内海に浮かぶ離島という特性から、インフラ維持管理や災害時の避難体制、人口減少に伴う職員不足など、避けては通れない喫緊の課題を抱えている。今回の協定を通じ、町職員との対話による次世代に誇れる持続可能な町を築きあげていきたい」と述べ、同社への期待を示した。

宮本常務は「これまで積み重ねてきた経験や技術を生かし、職員の皆さんと課題解決のための議論を重ね、土庄町に最適に施策を提案する。町民の皆様の幸福につながる次世代まちづくりに全力で貢献していきたい」と決意を示した。

協定に基づく連携事項の内容は、▽まちづくりに関すること▽インフラ・公共施設に関すること▽その他協定の目的達成に必要な事項。同社の知見を生かしたアイデア、新技術などを提供することで、多様な地域課題の解決に貢献するとともに、新事業への展開につなげる。

